

文化人類学者で、日本人以上に築地市場に詳しい テオドル・ベスター 米ハーバード大学教授インタビュー

10月1日(土)築地・東劇先行公開の『TSUKIJI WONDERLAND (築地ワンダーランド)』。その公開に先立ち、同作の中で「案内役」として登場する米ハーバード大学の文化人類学者、テオドル・ベスター教授が来日した。長年、築地について研究してきたベスター教授に、築地が持つ魅力について話を伺った。(取材・明石昇一郎)

*

私が最初に築地を訪れた時、「すごい、こんなに魚の種類があるのか」

と、ビックリしました。外国人の立場からみると、築地は「日本の食文化の都」です。

——日本食が世界に広まっていく中、ファンになった人たちが「都」か「聖地」のような築地に今、観光で訪れているのでしょうか？

そうそう。マグロと一緒に写真を撮ったたりするのは、日本人が「くまモン」と一緒に写真を撮って喜ぶのと同じです。ファンだから、すごく嬉しい(笑)。

——築地の情報はインターネット経由で世界に拡散している？

はい。見学ルートとか、見学の際のルールとか、けっこう詳しく出ていま



「TSUKIJI WONDERLAND (築地ワンダーランド)」
公開：10月1日(土)築地(東劇)先行公開
10月15日(土)全国ロードショー
監督・脚本・編集：遠藤尚太郎
上映時間：110分
製作・配給：松竹メディア事業部

築地に新「観光名所」が出現！ その名も吉野家「牛井碑」



吉野家の河村泰貴社長も、オレンジのネクタイを締めて参列



波除神社に新しい石碑「築地1号店」の写真付き
築地市場の豊洲移転を控えた8月31日、築地市場脇の波除神社で奉納行事が厳かに執り行なわれた。参列していたのはお揃いの「吉野家」法被を着た皆さん。神主が禱を振り、祝詞を朗誦して、奉納は無事終了。築地に新しい「観光名所」が出現した。

◎「牛井碑」の前には、お酒と一緒に「牛井並盛」もお供え
◎これが「牛井碑」の全景。波除神社に入ってすぐ右側にある

す。それに、インターネットで調べると「寿司大」の情報が出ていて、アメリカ人がよく使う「食ベログ」のようなサイトでは、寿司大が東京の寿司屋でトップの評価を受けている(笑)。

実は欧米から来る観光客にとって、東京は京都などと比べ、魅力的な場所が少ないんです。でも、日本語ができない人であっても、築地なら目で見ただけでもある程度、理解できる。だから、彼らにとっては築地が東京観光のメインになるんです。

——欧米の人たちから見ると築地市場は異国情緒を感じるものなんですか？

はい、そうです。エキゾチック。

——その築地市場は、近く豊洲に移転する予定です。今、築地を訪れている外国人観光客の皆さんは、豊洲の市場にも足を運んでくれるでしょうか？

あまりエキゾチックじゃないかも

れません。新市場では、観光客用のルートが設けられ、そこから見学するようになります。今の築地とは趣が異なるでしょうね。交通の便の問題もあります。

——今のところ「ゆりかもめ」じゃないと行けないみたいですね。一般向けの駐車場も整備できていないようです。

日本人観光客はともかく、豊洲を訪れる外国人観光客は、そう多くないかもしれない。でも、エキゾチックな場外市場が、築地にあります。

その場外市場には、この映画『TSUKIJI WONDERLAND(築地ワンダーランド)』で描かれている、築地の人々が培ってきた文化や気質があります。仲卸さんたちが協力している「築地魚河岸」という新しいマーケットも、近日中に場外市場内にオープンするといえます。まだまだ築地には、いっぱい魅力が残っています。